

The Basics (基本操作方法)

1. 先ず飛び乗って下さい。

2. 正しく立って下さい。

3. バランス感覚を習得して下さい。

4. 危険性を認識して下さい。

5. 動きや荷重に工夫を加えてみて下さい。

6. さてレッツ・トライ！

A グリップ(B)をしっかり握り膝を柔らかくして少し曲げステップ・プレート(H)に片足を乗せませす。次に体重をピストン(I)の中心に乗せるようにしてもう片方の足を乗せませす。

B ホップしながらあなたの体をハンドル・バー(B)に近づけるように握ります。

C 慣れてきたら、より垂直にホップ出来るように胸をハンドル・バー(B)に傾けるようにしてみましよう。

Troubleshooting (トラブルシューティング)

PROBLEM 問題点	SOLUTION 解決法
ラバー・チップ(J)とスキッド・プレート(U)が簡単に接触してしまう。	ラバー・スラスター(P)の取り付け本数を増やすか、ピストン(I)の長さを伸ばして下さい。
十分ホップ出来ているにもかかわらず、フットペグ(V)を十分踏み込むことが出来ない。	ラバー・スラスター(P)を数本取り外して見て下さい。
内部から異音がある。	ラバー・スラスター(P)が伸びて、アッパー・ハンガー(O)がフックから外れていないか、その他の部品が緩んでいないか確認して下さい。ラバー・スラスター(P)が伸びている場合は「どのようにラバー・スラスター(P)を調整するか」の手順に従って調整して下さい。
ピストン(I)の動きが悪くなった。	ラバー・チップ(J)を外しすべてのラバー・スラスター(P)を開放してピストン(I)を数回スライドさせた後、本体から抜き取って下さい。本体を振動させ内部に侵入した異物を除去して下さい。

Preflight Check (離陸前の点検!)

● ハンドル・バー(B)がしっかり固定されているかどうか確認!

● グリッド・テープ(S)が濡れていないか砂などが付着していないか確認!

● 貴方の体重に見合った本数のラバー・スラスター(P)が取り付けられているか確認!

● 4本のローアー・ボルト(G)がしっかりと締め付けられているか確認!

● ピストン(I)の長さが適切にセットされ、ロッキング・ピン(K)がしっかりと締め付けられているか確認!

● ラバー・チップ(J)がピストン(I)にしっかりと固定され、亀裂などがないか確認!

Flybar 800

Flybar 800
点検完了 (Check Approved)

離陸は承認された
(Clear for Take-off)

安全飛行を、そして
エンジョイ・ザ・ビュー
Keep it safe &
Enjoy the View!

Flybar®

www.flybar-japan.com

Designed in North America
Made in Taiwan

Flybar®

取扱説明書

F800

最初にお読みください

この度はFlybar(フライバー)800をご購入いただき誠にありがとうございます。箱から取り出したら直ぐにホップしてみたいでしょうか?でもその気持ちをググッと押さえて、先ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。そしてお読みになった後も大切に保管しておいて下さい。

Safety 安全について

- * 使用年齢 : 12歳以上
- * 適用体重 : 37kgs~81kgs

必ずヘルメットおよびプロテクティブ・ギア(防護具)を着用して下さい。必ず安全規格に適合したヘルメットを着用して下さい。装着の際は、あご紐やストラップ等を正しく調整して下さい。
(転倒時に頭部に重大な損傷を受ける可能性があります。)



危険な場所では使用しないで下さい。(マナーと常識を守って)人や車の往来が激しい場所では使用できません。歩道や車道では使用できません。着地面が: 硬い・傾斜が無い平面・障害物がない・十分に明るい・濡れていない事を確認して下さい。コンクリートがベストです。また、屋内外にかかわらず頭上に障害物がない事を確認して下さい。
(転倒し受傷する可能性があります。マナーを守ってプレーしましょう。)



膝のクッションを使って下さい。ホップの高さにかかわらず、着地時には必ず膝を軽く曲げて衝撃を吸収するようにして下さい。
(膝や股関節等を損傷する可能性があります。)



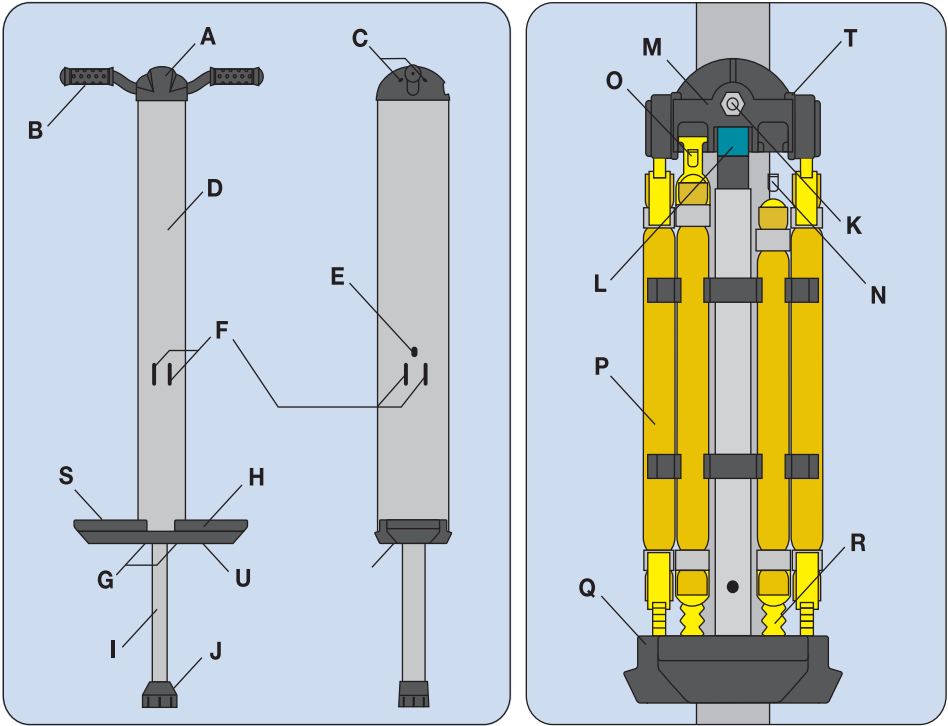
自分の技量に合わせて使用しましょう。慣れてくるとつい過激な技に挑戦したくなるもの。でもこの段階で怪我をするケースが多いのです。ステップ・バイ・ステップでテクニックを身に付けましょう。決して無理をしないで。



Assembly 組み立て

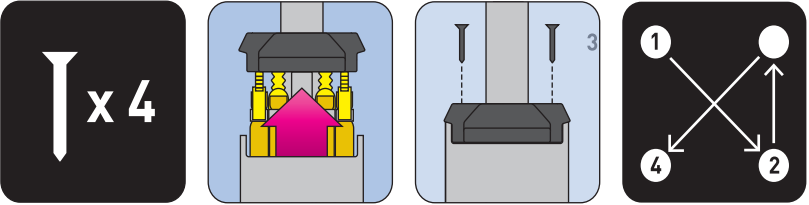
各部の名称

- A. トップ・キャップ
- B. ハンドル・バーおよびグリップ
- C. アッパー・ボルト
- D. アウター・シェル
- E. ピストン調整用ホール
- F. ハンガー・アクセス用スロット
- G. ロアー・ボルト
- H. ステップ・プレート
- I. ピストン
- J. ラバー・チップ
- K. ロッキング・ピン
- L. ショック・パッド
- M. アッパー・マウント
- N. アッパー・ハンガー(開放された状態)
- O. アッパー・ハンガー(フックされテンションがかかった状態)
- P. ラバー・スラスター
- Q. ロアー・マウント
- R. アンカー
- S. グリップ・テープ
- T. アッパー・ベアリング(軸受け)
- U. スキッド・プレート
- V. フットベグ・アッセンブリー
- W. コア・アッセンブリー(一番右の図全体)



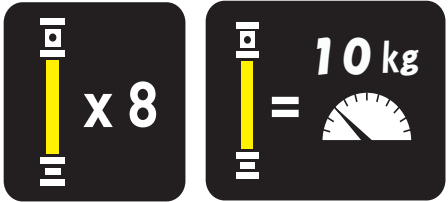
アウター・シェル(D)の取り付け

箱から取り出したらトップ・キャップ(A)の側面に装着されている専用工具を取り出して下さい。コア・アッセンブリー(W)の下部に取り付けられている4本のロアー・ボルト(G)の先端に取り付けられているO-リングを取り外し、ボルト(G)を抜きます。アウター・シェル(D)を逆さまにし、トップ・キャップ(A)が下にくるようにします。ハンドル・バー(B)とステップ・プレート(H)の方向が同じになるようにアウター・シェル(D)をコア・アッセンブリー(W)にかぶせていきます。再びボルト(G)とワッシャーを差込み、専用工具を使って右図のように対角線の順番で4回ぐらゐに分けて締め上げていきます。この際、締め過ぎに注意して下さい。



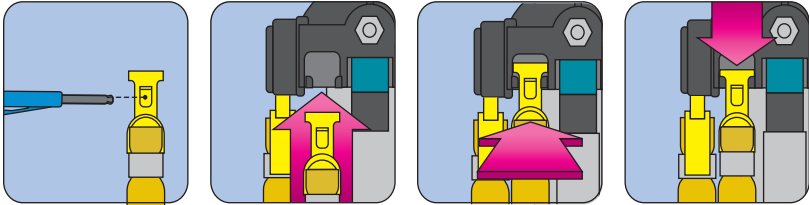
ラバー・スラスター(P)は跳躍力を調整します。

Flybar (フライバー) 800には8本のラバー・スラスター(P)が付属されており、1本あたり約9kgの体重を支える事が出来ます。プレーヤーの体重、技量に合わせて取り付け(フック)する本数を調整して下さい。ラバー・スラスター(P)は最低でも4本取り付けするようにして下さい。理想的なセッティングは、最大限に踏み込んだ時にラバー・チップ(J)がスキッド・プレート(U)に出来るだけ近づいた状態です。



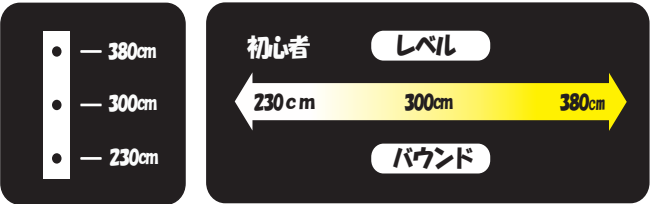
ラバー・スラスター(P)の取り付け(フック)

専用工具のボール状の先端をハンガー・アクセス用スロット(F)に差し込み、アッパー・ハンガー(N)の穴に差し込みます。この状態で上に引っ張り上げアッパー・マウント(M)のフックに押し込んで引っ掛けます。次にハンガーを下ろし工具を引き抜きます。取り外しの際は逆の順番で行います。この作業は本体を分解することなく行えます。



ピストン(I)の長さを調節する事が出来ます。

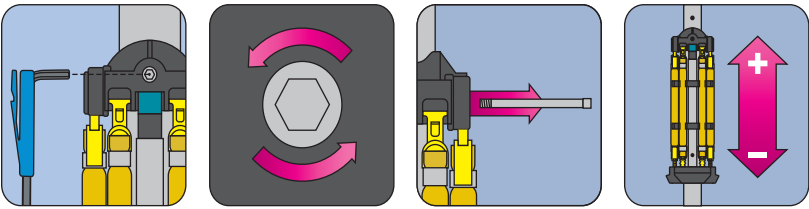
ピストン(I)の長さは、約23cm、約30cm、約38cmの3つのポジションから選ぶ事が出来ます。より長い設定にするほどより高くホップする事が出来ます。ほとんどのプレーヤーは、ピストン(I)の長さの2倍の高さがホップの最高到達点になるでしょう。初心者の方は一番安定する短いポジションから始める事をお勧めします。



Assembly (組み立て一続き)

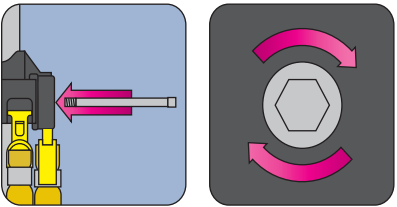
ピストン(I)の固定を解除します。

ピストンに負荷が掛からないようにコア・アッセンブリー(W)を横に寝かせます。専用工具の6角レンチを使ってロッキング・ピン(K)を元の穴にゆっくり差し込み、ピストン(I)に開いている穴を通してアッパー・マウント(M)の反対側にあるナットに、時計回りに回して締め込んでいきます。完全に閉めこんだら準備完了です。



ピストン(I)を固定します。

お好みの位置が決まったら、専用工具を使ってロッキング・ピン(K)を元の穴にゆっくり差し込み、ピストン(I)に開いている穴を通してアッパー・マウント(M)の反対側にあるナットに、時計回りに回して締め込んでいきます。完全に閉めこんだら準備完了です。



Maintenance メンテナンス

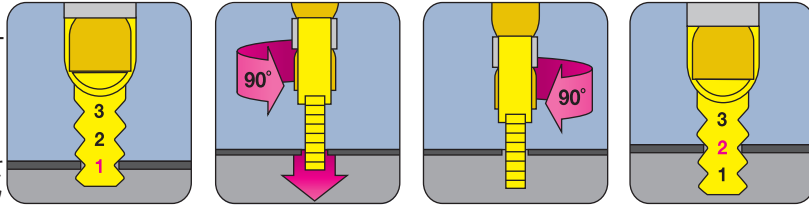
いつラバー・スラスター(P)の調整するか。

ラバー・スラスター(P)は、使用頻度に比例して少しずつ劣化していきませんが、取り付け位置を調整する事によって性能を復活させる事が出来ます。もしアッパー・ハンガー(N)が開放された状態で、ハンガーがアッパー・マウント(M)の下の部分に当たるようであれば調整時期と考えて下さい。目安として半年ごとに点検するようにして下さい。



どのようにラバー・スラスター(P)を調整するか。

それぞれのラバー・スラスター(P)の下部には、左右に3つのV字型の切込み(ノッチ)が入ったプラスチック製のアンカー(R)が付いています。ご購入時には、最も下のV字型切込み(ノッチ)1番がフットベグ・アッセンブリー(V)に固定されています。アンカー(R)は90度回す事によって取り外す事が出来ます。ラバー・スラスター(P)の伸び具合に応じて2番または3番のノッチまでアンカー(R)を押し込み、90度回して元の向きに戻して下さい。この際、アンカー(R)が確実にフットベグ・アッセンブリー(V)に固定されている事をご確認下さい。



ベアリング

Flybar 800は、スライド用にプラスチック・ベアリングを使用しています。このベアリングの寿命を延ばすために、ご使用ごとにピストン(I)に付着した砂やゴミをふき取る事をお勧めします。もしピストン(I)が左右にぐらつき始めたらベアリングの交換時期です。交換キットは、お買い上げになった販売店もしくはwww.flybar-japan.comまでご注文下さい。

フットベグ・アッセンブリー(V)

フットベグ・アッセンブリー(V)のスキッド・プレート(U)は、ヒビが入ったり磨耗してネジの頭頂部が露出してきたような場合、交換する必要があります。交換キットは、お買い上げになった販売店もしくはwww.flybar-japan.comまでご注文下さい。

ショック・パッド(L)

ショック・パッド(L)は、コア・アッセンブリー(W)の両サイドにあるサポート・ボール先端に取り付けられた防振用ラバー(緑色)で内部部品の衝撃を全て受け止める重要な部品です。ひび割れや欠損などがあった場合、早急に交換して下さい。交換部品は、お買い上げになった販売店もしくはwww.flybar-japan.comまでご注文下さい。

ラバーチップ

F L Y B A R 8 0 0ラバーチップはヘビーデューティーな使用に耐えられるよう作られています。しかし状況によりヒビが入ったり極端に磨り減った場合は交換してください。交換部品は販売店、代理店若しくは下記にお問い合わせ下さい。
www.flybar-japan.com

注油

ベアリングやその他の擦動部分には定期的に注油する事をお勧めします。その際はシリコン系の潤滑油をご使用下さい。オイル系のものやグリース系のは、砂やゴミなどを機構内部に引き込みベアリングなどの磨耗を早める可能性があるためお避け下さい。

保管方法

長期に渡って使用しない場合は、全て分解し中性洗剤などで洗浄し十分乾燥させた後、ベアリングやその他の擦動部分に注油し組み立てます。組み立ての際、ラバー・スラスター(P)は必ずすべて開放しておいて下さい。ラバーの寿命を延ばします。保管に際しては、カバーなどを掛け直射日光が当たらない通気性の良い場所を選んで下さい。